

6/7(土)にレフェリーアカデミー2B研修会および全カテゴリー合同フィジカルトレーニングを知多市勤労文化会館、松屋地所フレッチフィールド人工芝で行いました。2B研修会ではビデオクリップを用いて、審判員同士で判定の見解について意見交換を行いました。

また、全カテゴリー合同フィジカルトレーニングでは、視覚から得た刺激に対し、素早く反応するアジリティートレーニングを実施しました。

審判委員会ではこれから本格的に審判活動をやっていきたい、上級を目指して頑張りたいといった方に対し、各種研修会を開催しています。興味をお持ちの方はお気軽に愛知県サッカー協会にお問い合わせください。

### 【参加者の感想】

#### 稲田篤希 2級審判員

今回の座学研修では、海外サッカーの試合映像を見てディスカッションを行いました。映像から、「ハンドの反則」・「オフサイドのディフレクションまたは意図的なプレー」・「決定的な得点の機会の阻止(DOGSO)」の3つの事象がありました。

私たちが担当する試合ではVARが無いので、一瞬での判断力が求められます。その為、どのポジションで判定するか、または1つだけの予測ではなく2つ以上の予測をもってどのように動けば正しい判定を行えるかを考えました。また、その判定を下したことによって選手、チームスタッフからの声に対して、どのようにマネジメントを行えば良いかも改めて考える事ができました。「オフサイド」、「ハンド」の反則については年々競技規則が変わってきています。自分の頭の中で競技規則と照らし合わせて、試合で正しい判定ができるように今後も精進していきたいと思えます。

最後になりますが、この度の研修会を計画・実施してくださった講師をはじめとした関係者の方々に感謝申し上げます。



#### 横澤瑛太 3級審判員

今回、初めて合同フィジカルトレーニングに参加しました。他の審判員の方々がたくさんいて、とても緊張しましたが、自分にとってとても良い機会になりました。

トレーニングでは体力と頭を使って行いました。初めて行うものだったため、反応が鈍いところがありました。また、自分の視野の狭さも実感しました。不慣れな自分に対して、先輩方がとても優しく教えてくれて、これからも頑張ろうと思いました。指導してもらったことをこれから意識していきたいと思いました。

